



穢

れ

な

き

花

女

艶

の

いち

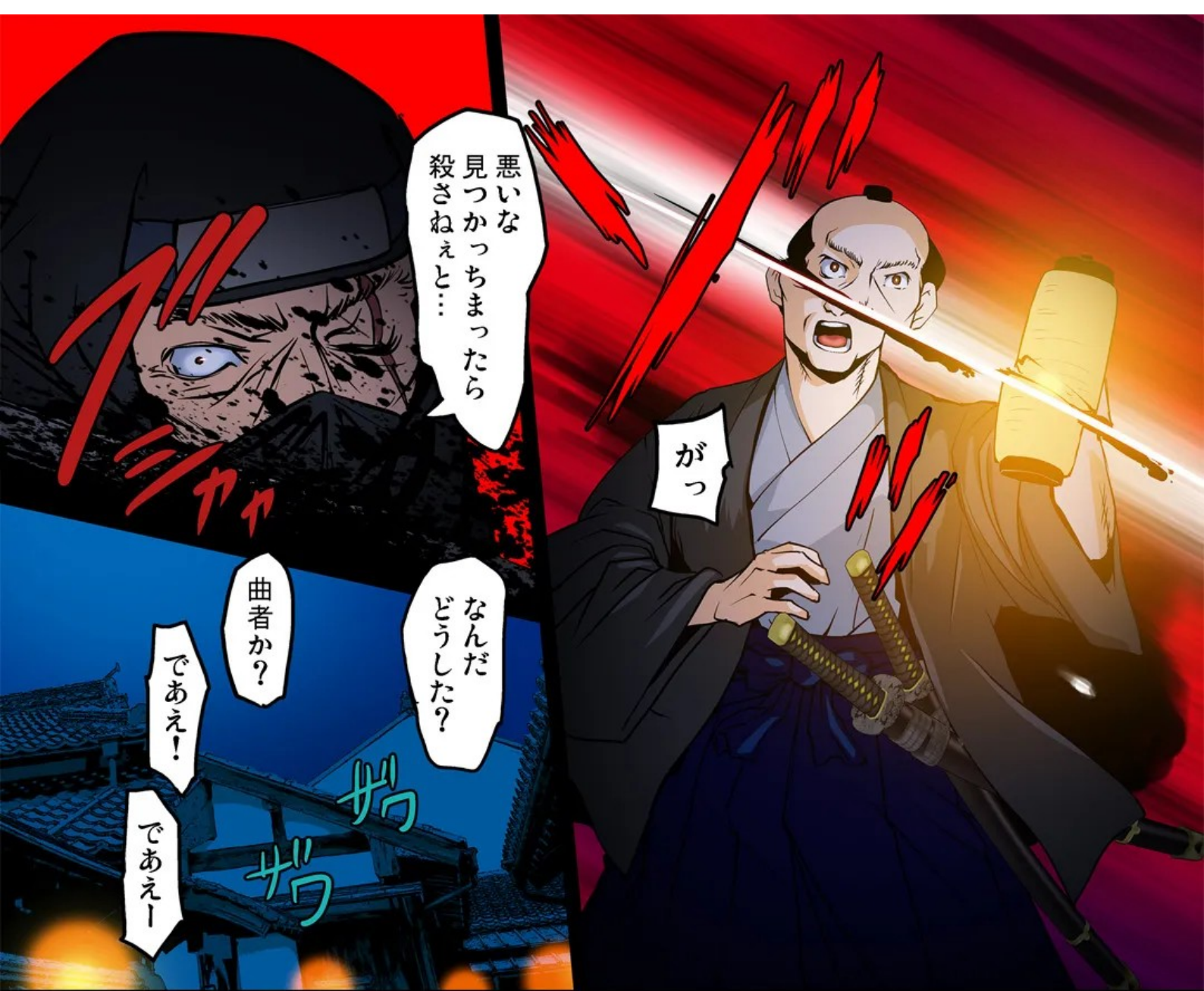
【1】

RAYMON









悪いな
見つかっちゃったら
殺さねえと...

がっ

なんだ
どうした?

曲者か?

であえ!

であえー

ザッ

ザッ



邪魔するものは
皆殺した

やれやれ
仕方ないのう

スス...

ス

ザッ

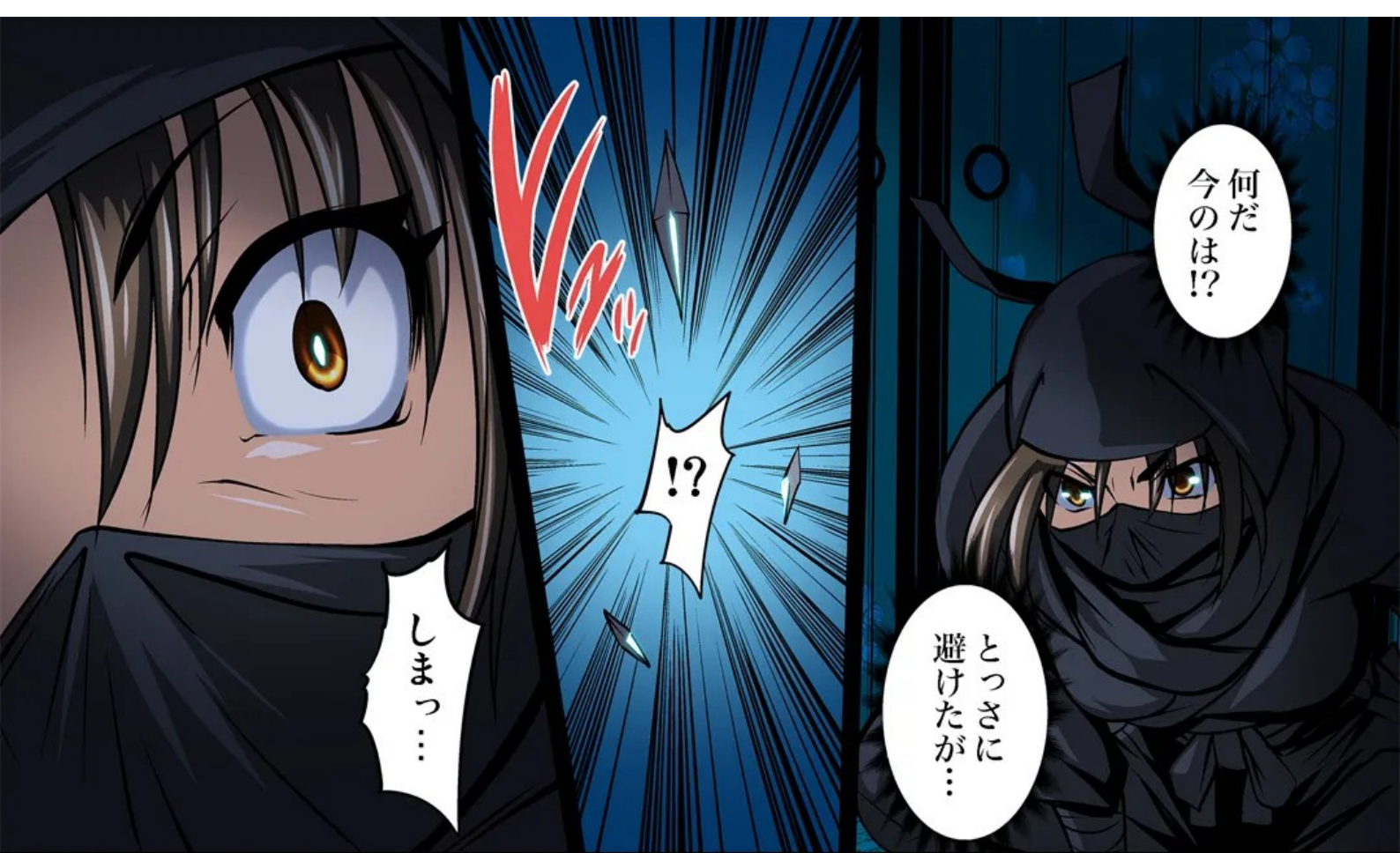
ザッ

ザッ

ザッ

ザッ







んあ

14

なっ!?
なんじゃ
これはっ

何事じゃ!?

只今
賊を捕らえた
ところに
ございます

おっと旦那様
お騒がせして
申し訳ない

唐家
長兵衛!!

お覚悟っ!!

!?

ひいひい



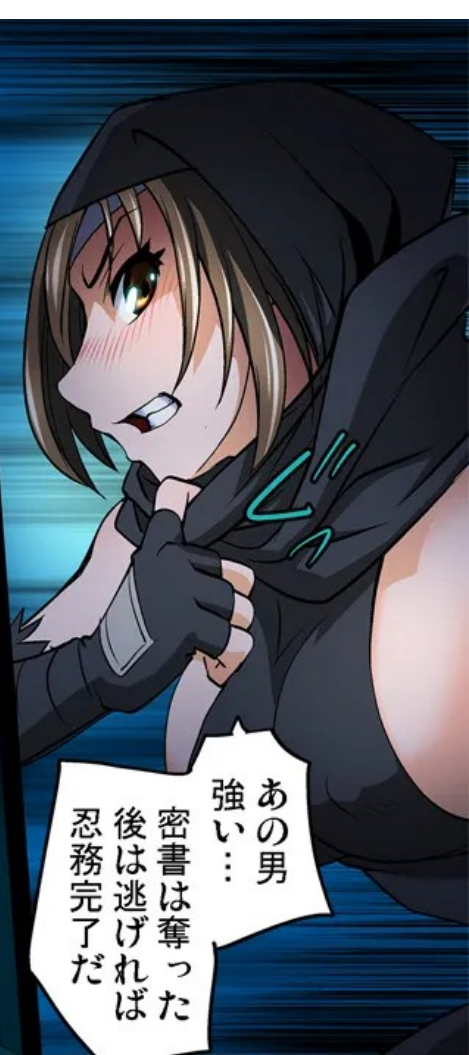
早く戻っ…

!!



坊やっ
ダメよ
危ないわっ

だあ
だあ



あの男
強い…
密書は奪った
後は逃げれば
忍務完了だ



ぎやああっ



許せん…



なんて
酷いことを

くそっ
俺が逃がした
ばかりに…



あの女が
やったのか?





我らの忍務は
密書の奪還では
なかったのですか!!

お頭っ

もちろん
そうだが...

目の前のお宝を
放っておく手は
あるめえよ



盗賊よ

嘆かわしい...
これでは
盗賊となんら
変わりが...

俺等は
とうの昔に盗賊よ
幕府の密命を負う
忍びというのは
すでに過去の話だ



時代は変わったんだ
金で雇われ
金を奪い
女を犯す
もちろん人も殺す

今更どうした?
ん?
お前だって今日
殺したろうが?

私は殺してなど
いないっ!

アレは
お頭が...



偽物?
あの密書は
偽物だと?



同じことよ
顔を見られた以上
殺さねばならん
てめえのヘマよ

あんな女もいい体
してたのにな
もったいねえ



おめえ本気で
ヘマした
ようだなあ



お:
お許しを

てめえ最近
気い抜けてんじや
ねえか

忍務失敗の罰だ
たっぷりかわいがって
立場ってもんを
思い出させてやる



そんな
バカな!?

舐めた口
利いてん
じゃねえっ!!



お頭！
お許しを！

私は忍務失敗など
してません
指示通りに
密書を……

ほほう？
じゃあ
俺様の指示が
間違ってたと？

いえっ
そんなっ
ただ私は……



何をそんなに
いきり立ってる
かと思えば
なるほどお

ひやうっ

素直に
失敗を認めたく
なかったか



だが
失敗は
失敗だ

んあっ

ああっ

んああ

ガッガッ



お頭…
許して…

オメエは一応
仲間だからよ？
壊すような
手荒な真似は
しねえが…

捨てられてた
赤ん坊のお前を
拾ってやって

ガキの頃から
メシを食わせて
鍛えてやった恩を
忘れてんじゃ
ねえぞ

誰のお陰で
ココまで
育った？

ん？

んああつ



どれ久々に
味を見てやる

お？
立派に
生え揃った
じゃねえか

ここだって
そろそろ
一人前に…



やつ

ああつ

お頭つ

そこはっ

んっ

くくく
いっばし
一端に感じる
ようになったか



ガキの頃は
コレを塗ったら
3日は悶えていたな

ひゃうっ

くちゅ
くちゅ



この邪淫膏
覚えてるか?

い...嫌...

ソレは...
堪忍して
ください...



全身が
敏感になって

あああっ

ちゅが

自分が
自分で
なくなる...



いやあああっ

この薬...
嫌な奴だ...

抑えられない
快楽が...

高い薬だぞ?
ありがたく
思え

たっぷり
塗り込んでやる



あああああつ

いやあああああ

ガクガク

あーっ

あーっ

ククク
軽く刺激しただけで
潮を吹きよったわ

敏感な身体に
育ったものよ



お前にはいずれ
この女の体を使う
忍務も下る

女のイロハ
俺がこうやって
教え込んでやってんだ
ありがたく思え

だだめだ…
意識が…

ハッハッ

ス

ハッハッ

ブルブル

んんん

んんん

人の体ってのは
どんな刺激にも
すぐに
慣れちゃう

初めは木の棒で
小突かれた程度で
痛がって
いたものが

鍛え
痛み慣れることで
刀で切られようと
腕をもがれようと

死の間際まで
痛み耐えられる
ようになる

そうでなければ
忍びの身体は
過酷な忍務に
耐えられぬ

それは
快樂も同じ…

!!

カクカク

ズリ...

く...

ギッ
ギッ

くく...

カクカク

ボウ
ボウ

カクカク

ビクッ

ビクッ

ハッ

ハッ

ブル

カクカク

女の忍務も
快樂も
鍛えてやらねば
溺れ流される

ずめずめ

そうならぬよう
薬を使った
何倍もの
快樂に耐え

快樂に溺れぬよう
鍛えてやるのだっ

あっ

ぐっ

はな

はな

んぐ

んあっ

んぐ

ブルブル

あっ

ほれほれ
尻穴を貫かれる
痛みには
もう慣れたかつ

押し寄せる
快樂に意識を
飛ばすな

あ…

お前はくノ一
その体を使って
いずれ大きな
忍務を与えてやる

ああ…

ずめずめ

んぐ



あっ

あっ

んあああ

あっ

んああああ

ああああ

これからは
もっともっと
激しい快樂で
鍛えてやるから
楽しみにしておけ

ガキの小さい体が
盗みに向いていたが
...もう十分
女として使えるな

ん...ん...

ゴッ...

ずる...ずる...



いいかてめえら
明日もう一度
あの屋敷に行くっ

おおうつ!!

今度は皆殺しに
してでも
密書を奪い
取ってやれ!!



そんなっ
御無体な!

なんでも
しますっ
なんでも
差し上げます!



あの御屋敷には
まだ子供もたくさ...

どうか
命だけは
奪わないで
くださいまし!



親を殺されたガキは
敵討ちなどという
下らぬ妄執に
取り憑かれる

えろ...



面倒の種は
芽吹く前に...

根絶やしだっ!!

ギロ



きゃああああっ

子供?
ガキこそ
殺さねえとなあ?



屋敷は
警戒してる
盗むのはもう
無理だな

お前は
足手まといだ
おとなしく
している



.....



何故だ…

どうして
こうなった…

ザッ…



くそっ

バシッ

くそっ

ザッ



……

……
このままでは
また大勢死ぬ
…子供まで…

ザッ



私は
失敗など…

指示通りの
密書を盗み
出せたのに…

ポッ
ポッ



酔い覚ましに
来てみれば

大丈夫か？
だいぶお頭に
しごかれてた
じゃねえか

ぐひっ

本当に
身体だけは
一端だな

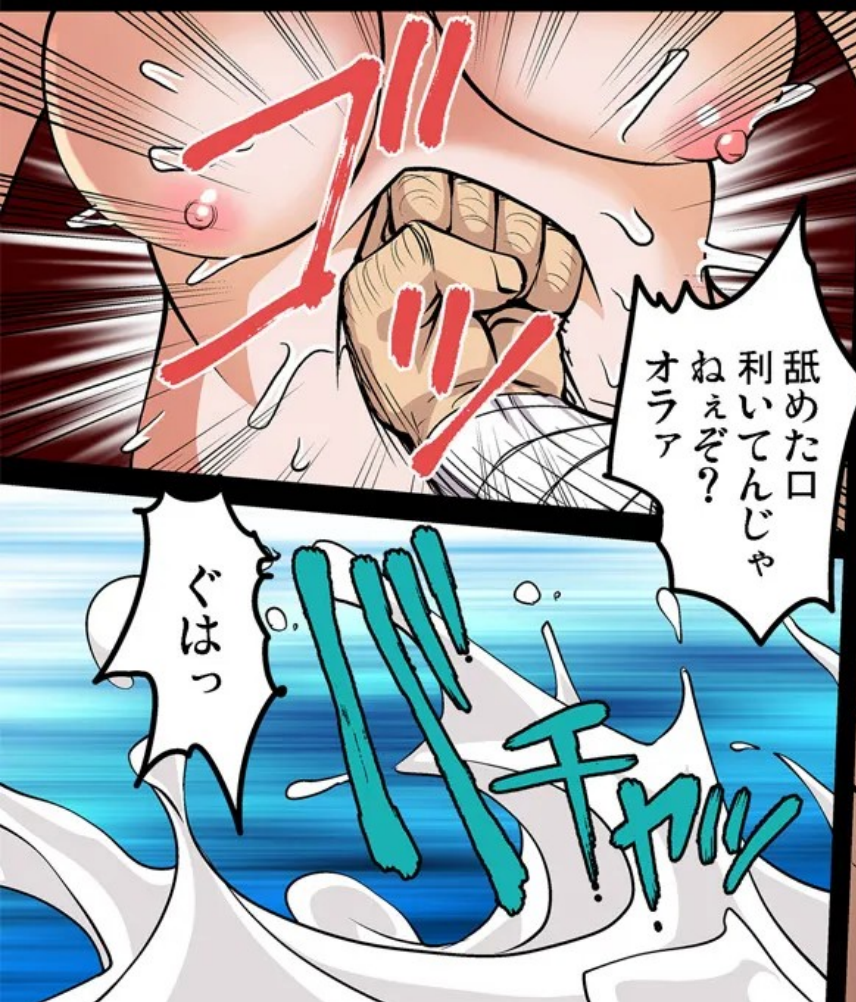
どうだ？
今度は俺達が
しごいて
やろうか？

触るな…
せっかく
洗ったのに…

なんだとっ

ハ○チャ
ハ○チャ

ハ○チャ
ハ○チャ



……
元はと云えば
ゴンゾウ
お前がへマ
しなければ
あそこまで
騒ぎも大きく…

舐めた口
利いてんじゃ
ねえぞ？
オラァ

ぐはっ

干○ヤッ



ぐひ？



おメエはお頭のお気に入りだから誰も手を出してなかったが

お頭に初物捧げた後はどうなるかわかってんのか?

グヒヒ
俺達はずっとそれを心待ちにしてるんだぜ

毎晩俺らに犯され女を鍛え上げるんだぞ!

もう我慢できねえ 犯っちまおうぜ!

お頭ももう寝ちまったしバレねえだろ

まあ待て
ゴンゾウ
まずは本当に生娘かどうか? じっくり調べてやる

この作品はフィクションです。
実在の人物・団体・事件とは一切関係ありません。